

# 更に進化を遂げた「究極」の操作盤

## 新型操作盤 2 機種を発売開始

日工(株)

### はじめに

日工(株)はプラントメーカーならではの機械と一体になった高度な制御技術を用いた操作盤を提供し、これまでお客様から高い評価を得ている。常に操作性、生産性そして信頼性の向上を実現し、デザインもオペレータが使って楽しくなるような操作盤を開発している。

### 新型操作盤発売へ

同社の従来機種「TRINITY」並びに「it's-B Plus」を更にバージョンアップした新機種「TRINITY Ultimate (トリニティ アルティメット)」と「it's-B REAL (イツビー レアル)」の 2 機種を発売開始した。

「TRINITY Ultimate」については、従来の操作盤より操作性、視認性、環境対応を向上させた「究極」の操作盤に仕上がっている。

「it's-B REAL」は2000年発売のit's-B初代よりの血統を継ぎながら最新技術を導入した操作盤のサラブレッドと言える。

### プラント情報サービスの開発

新型操作盤(2機種)の開発に



合わせて、「NICS・・・Nikko Internet Contents Service」を開始した。

「NICS (ニックス)」とは稼働情報、プラント情報等のプラントに関連する運営・管理情報がWEB上にて閲覧できる新サービスで、最新型 2 機種はNICSを装備し、操作盤とインターネット技術を融合した一歩進んだシステムとなっており、機械のコントロールを行う操作盤から「指令塔」に進化している。

過去のアナログ操作盤からデジタル操作盤へ移行時に開発した「COMMAND (コマンド)」シリーズは当初より指令塔を目指し開発しており、今回の新型操作盤は新時代のインフラを利用した「究極」

と同社と言う。

### 環境対応

新型では環境面にも対応したエコ機能(オプション)、スランプ波形表示でエネルギーの「見える化」により環境にやさしいシステムに仕上がっている。

### スマート操作盤

お気に入りスイッチによる操作の柔軟性、視認性が抜群でオペレータアシスト機能によるサポート面でも簡単で安心して使用できる操作盤となっている。

同社は現時点で「究極」と表現しているが、既に更なる発展に着眼しており、究極の先はどうなるか楽しみである。